



## 【願いはひとつ

## 一人ひとりの子供たちの健全育成】

高知市少年補導センター  
所長 吉川 佳余

日頃は、それぞれのお立場での子供たちの健全育成や見守り等による非行防止活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

高知市少年補導センターでは、街頭補導活動をはじめとするさまざまな事業を展開しております。例えば、情報モラル教育推進事業、支援活動としての児童生徒等自立支援教室、非行防止をはじめとする各種授業の実施を通じた少年非行対策事業等があります。

街頭補導では、市内の公園や量販店等を巡回し、子供たちに出会った際には、補導行為の有無に限らず、声をかけるよう心がけています。ここ数年、市内各地の公園や量販店での喫煙をはじめとする不良行為や迷惑行為が発生しております。日々の巡回時間やコースにも変化をもたせ、子供たちに出会うことができるように工夫しています。繰り返し、地道に声かけを行い、指導を行うことで、少しずついい変化も起きています。公園等、巡回した際、ごみが散乱している場面に出くわすことがあります。そんな時は、職員が黙って清掃することもあります。近くにいた少年たちに片付けるよう、声かけをすると、当初は、「自分達のではない」と言っていた少年たちも、複数回、出会い、声かけを重ねることで、少し「知りあい」になってくれたのか、職員と一緒にごみを拾ってくれたり、煩雑に駐輪されている自転車を一緒に整頓してくれたりする少年たちの姿も見られるようになりました。最初は、反抗的だった少年たちも、時間をかけて話を聞き、話をすると心を開いてくれるようになるものです。職員にとってはほんの少しほっこりできる瞬間です。私たち少年補導センターは、決して【捕まえる】ことが目的ではなく、【補い、導く、補導】活動を地道に行うことで、子供たちの健全育成をただ、ひたすら願っているのです。

他にも、学校や関係機関と連携し、児童生徒等を対象に「情報モラル教育の推進」に取り組んでいます。インターネットについての正しい知識や使い方についても学校等から依頼があれば、児童生徒等の実態や課題に応じた授業を実施しています。また、入口型非行を未然に防止するために、小学校・義務教育学校（前期）では「万引き防止を含めた非行防止指導」を実施し、小学校段階から規範意識の醸成を図る取組にも力を入れていきます。中学校・義務教育学校（後期）では「自転車盗難防止指導」に引き続き、取り組んでいきます。

さらに、「児童生徒等自立支援教室」を開設し、一人ひとりの抱えている様々な課題に応じた支援ができる体制を整え、個別でじっくりと学習できる場を提供しています。この教室に通うことで、子供たちの進路を保障する一助となり、将来の夢につなげられるよう、心のケアも行いながら、個に応じた学習支援を行います。

最後に、自分のことを好きになれなかったり、居場所がないと思っていたりする子供たちに「自分は人から大事にされている存在だ、自分にもいいところはあるんだ」と感じさせることが我々大人の役割だと思っています。これは、高知市少年補導センターとして大事にしている「補導（補い、導く）」の考えであり、今後も学校や関係機関とのつながりを大事にして一人ひとりの子供たちの健全育成に取り組んでまいります。